（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）（日曜及祭日の翌日休刊）明治四十二年十月廿四日（日曜日）第二百四十七號（一）

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## ●新學相李容植氏

今回新任せられたる學部大臣李容植氏は韓國四大閥族中の兩班にして代々好學の士を出だし氏も亦其名聲を辱しめず幼にして學を勵み科擧試驗に應じては優等を以て登第し當時既に異數の材として目せらるゝに到れり後成均學館長を拜し日清戰爭當時は黄海道觀察使となり日本の連戰連勝を聞いて慨惱し大國支那の爲めに頻りに悲み其後轉じて議政府參與に任じ更に學部大臣に昇任し三十五年頃再び牧民官となり全羅北道觀察使に轉任したり在官幾干ならずして仕を辭し爾來草莽の間に流浪して其不遇を喞ちつゝありしが而かも氏の厚學は儒生の敬慕を受け其門を出入するもの尠からざりし偶々日韓新協約の締結せられ急轉直下の勢を以て統監政治の擴大せらるゝや首相李完用氏は日韓の現勢を知らしむるには親しく日本の文物制度を觀察せしむるに如かずとなし伊藤統監と協議の結果京城日報をして觀光團を主催せしめ專ら守舊固陋派の出遊を促がしたり其際李首相は切に同氏を慫慂して日本行を勸めたるも容易に之に應せず遂に太皇帝陛下を煩はし奉りて親書に百五十圓を添へて下賜し漸く大臣に拜任するを得ば快諾せんと言はしむるまでに到れり斯くて日本行を決定し遂に斷髮を行ひ新調の洋服を裝ひたるが着始めの新裝束に怪訝の顏をなし鏡臺に對して獨り自ら噴笑し居る樣如何にも面白く傍人孰れも貰ひ笑ひせる滑稽を演じたり而して觀光團の一行に加はり日本に往航したるが當時頻りに日韓合併問題流布せられ今回の行日本政府より必ず調印を強ひらるべしとて聞き之を信じ今日か明日かと憂慮措く能はざりし如かりしが遂に其事なく終りたる爲め爾來漸く日本を解せるもの〻如し氏の人格は斯の如く以て其一斑を窺ひ得べし然るに今回學相の椅子を與へたるは氏の門閥と儒生間の勢力とを利用せん爲め特に擢んでたる者なりと（電通）

## ●京元鐵道と元山の人氣

元山財務局長堀謙氏の談によれば長らく沈衰の境におりし元山地方も鐵道敷設の噂と共に大に人氣附き活氣立ち來りしが愈同鐵道の起工さるゝに至らば盛況は意想の他に上るべく尚ほ同地より上京運動員は同地商業會議所會頭太田儀三及同書記長芦濱忠太郎の兩氏なりと

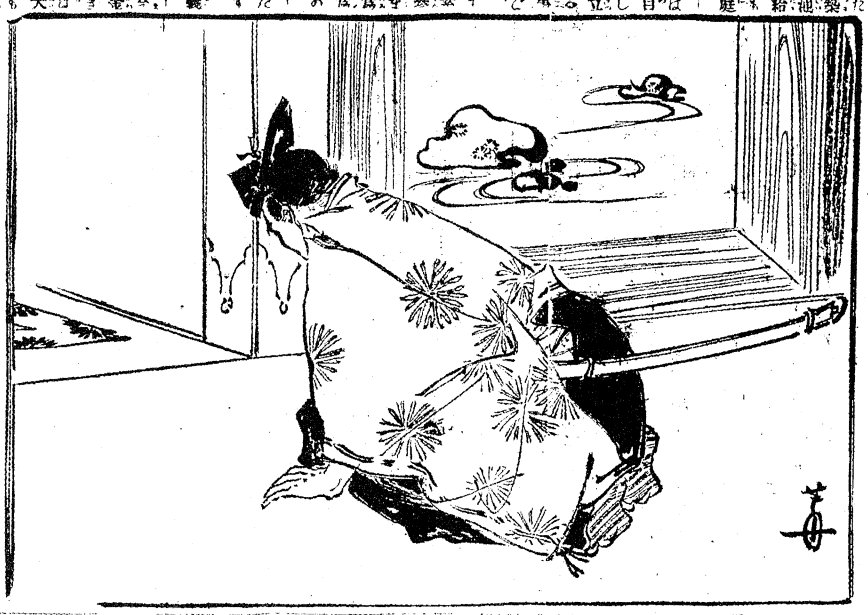
## ●清津港の近況

近頃北韓より歸省したる人の談話に依れば同港在住の日本人は戸數約五百、人口二千五百名、韓人戸數二百、人口一千名、清人勞働者五六百名あり益々邦人の增加を來たしつゝあり、人氣中々旺盛なるが韓國政府は曩きに同所の埋築工事に對して六萬圓餘を貸與し目下着々進行中なら築港は本年四月より起工し目下は捨石を爲しつゝありて來年中には竣成すべく商取引は坂神との關係にて重もに雜貨、金巾等なり輸入は昨年四月より十二月まで約五十万圓、本年は百万圓に達する見込にして埋築工事の終りたる時は六千坪の新なる場所を得べく將來は非常の有望地也

## 鎮西八郎

第十五席　伯山改　神田松鯉口演

此の成菩提院の御所と云ふのは鳥羽上皇の御座所でありまして、久壽二年の春新らたに築かれたるので、築山を造り池を掘らせ給ひていとも美事な御庭が出來ました、信西は上皇に御目通りを致し 信「誠に立派やかなる御庭御美事のことでございます、就きまして昨日筑紫より知人參りて申しまするに、爲義が八男爲朝筑紫にありて珍らしき鶴を獲たりとか申すことにて、其鶴は昔義家の放ちしものにて今尚足に黄金の牌が付きて居り形は鵠よりも大きく鳴聲もなか／＼高く清しとのことに候早く爲義に仰せて爲朝の許へ使を出し、彼を召させられ御池の汀へ放ち給はゞイト目出度き事にて候ふべし」と申しましたので、上皇は大いに悦び給ひ「ソハ好き事を聞きつるものかな、早速爲義に申付くるであらう」と次の日爲義を召して爲朝の許へ使を遣り早速鶴を差出すべしと仰せありますれば、爲義朝臣不思議の思ひに感じながらも謹んで申上げまするやう「八郎爲朝は故ありて西國へ逐下し、年來音信を絕ち居りますれば拙者一向に如何なることあるか存じ申さず、何人か知らせ申せしにやあらん、兎に角申し違はし候ふべし」と御答して退出致しました、家に歸つて家來の秦次郎景延と云ふ者を召しました、景延は何事ならんと早速爲義の御前へ出ますると「これ景延、其方八郎に面會なし、祖父義家公の放ち給ひしとか云へる鶴を鳥羽院へ献上致すやう申附けよ」と命じますれば、景「畏つて候」と、秦次郎取る物も取敢ず、汗馬に鞭ち、晝夜の別ちなく路を馳せて、やがて太宰府へと到着しました、爲朝は父上よりの使者と聞いて直ちに面會致されました 爲「オヽ景延であるか、久振であつたな、汝は如何なる用事ありて下りつるや、御父上には恙なく在すか、勘氣を許し給はんとの御使にてはあらぬか」と問へば、景延答へて 景「大殿を始め御兄弟皆々御壯健に候へば御安心下さるやう願ひまする、就きましては今度某俄かに御使を蒙りて參り候は、承れば若殿様には珍らしき鶴を得給ひ候よし、一院（鳥羽上皇）様聞こし召され、成菩提院の御庭へ放させ給ふ思召にて右の鶴を献上に及ぶやう、大殿様へ仰せあり、依つて某、大殿樣の御申付けにて態々參り候」と詳しく口上の次第を申述べる、爲朝之れを聞きて 爲「オヽ其の爲めに態々參りしが、夫れは大儀千万である、成程曾祖義家殿の放ち給ひし鶴を豐後國木綿山と云へる所にて獲ることは獲たのぢやが、狹くに放ち遣りて今は手元には居らず手元にだにあらば直ちに献上すること何の辭む所はなければ、放ちてより幾多の日數を過ぎしことなれば如何とも詮方なし、其方は何と返事したら宜しかるべき……」と云ひますれば、秦次郎も大いに望みを失ひました、暫らくあつて爲朝は横手を拍ち 爲「アヽ解かつたり、解かつたり、是れ信西が謀計に相違なし、信西が我を憎むの餘り鶴を放ちたることを聞知りて、態と知らぬ顏して、近頃獲たるやうに奏し奉りしに相違なし、依つて鶴は最早放したりと申しても鶴を進めなば君と父とを欺くわけになる事故、唯運を天に任かせ有りの儘に告げ申すより外は無し、ヨモ實事とは思しめすまじ、然らばとて他のこと宜かるべし」と斯く決心致されまして八丁礫の紀平治を使として秦次郎景延と共に京都へ登らせました、さて秦次郎景延、八丁礫の紀平治兩人只管道を急ぎて京都へ着し直ちに六條なる爲義朝臣の館へと伺候致しました 爲「オヽ大儀であつた、大層早かつたの、御苦勞〳〵、定めし鶴を持つて參つたであらうの」紀平治は兩手を突きまして紀「是れは始めて御目通り仕りまする、手前は紀平治と申しまするもの、此度若君樣の御使として參上仕りました 爲「オヽ夫れは大儀千萬、シテ鶴は如何致したな」餘程鶴が御心配になつたと見ゑまするか、是れも無理ならぬ次第でございます



廣告

### 宗教團の勃興

最近韓人間に種々なる宗教團の續々起り來れるは最も注目すべき現象なりとす、表容より之を觀察すれば韓人に宗教的感念の起り來れるものとも見るべし、然れども其裏面を觀察すれば必しも宗教觀念より來るものにあらずして其實に意外なる生活問題より來れるは聊か奇異の感なくんばあらず、從來韓國の宮中若しくは官吏運動の爲に散ぜられたる富の分配を受けて生存したるもの多きは何人も知る處也、然るに統監政治の施設以來宮中は肅清せられ、官吏の腐敗も亦除かれ、從來の如く無數徒食の徒は宮の分配を受けて生存する能はざるに至る、此等遊食の徒は何にかによりて生存を支へざる可らず、是を以て最初に於ては政治的結社に加入して頻りに利權運動を企てしも、更に其効なく空しく奔走するのみなるを以て、彼等も亦一頓悟をなし政事運動や利權運動は到底生存する能はざるを自覺せり、茲に於て何者か宗教團を起し地方の信徒若しくは會員よりの歸依金を徴することを案出せり、何事かあれかしと虎視耽々たる彼等遊食の徒は我先にと馳せ參じたるを以て何れの團體も白衣教と云ひ、侍天教と云ひ、最近設けられたる孔子教と云ひ、大同教と云ひ、神宮奉敬會と云ひ、毎日爲すこともなく長烟管により悠然として遊民を以て暮し居れる韓人の如何に多きかを見れば必ずや思ひ半に過ぎむ、而して彼等が斯く多く集合するは何の爲ぞ、言ふまでもなく其多くは歸依金若しくは會費の分配に與らんが爲也、換言すれば生活せん爲に會員となり教徒となる、少くも之が役員たらんとするが爲に其生存を易くせんが爲に集合すると云ふも不可なからんか、然れども地方に於ける教徒若しくは會員には頗る眞面目なるもの多く、此等は眞に心より歸依して喜捨を投ずる也、斯る地方人の信仰若しくは迷信を利用し之により生活せんとするものは實に不眞面目なる教徒會員の多きは甚だ憂ふ可き事なりとす、當局者は此等團體に於ける所謂無數の遊食の徒に就て何とか取締る所なかる可らず、然らざれば折角組織せる宗教團も徒に此等遊食の徒に誤らるゝに至るべし。

淫祠邪教に非ざる以上は信仰の自由を制するに及ばずと雖も、自己の生活を支へんが爲に組織せるが如き團體は害あるも益なし、宜しく之に制裁を加ふるを可とせずや、而して濫りに斯る企圖を爲さるゝも畢竟は生活を支ふる收入なきが爲也、此等の徒にして絶滅せざる限りは之に類似の朋黨結社は續々として生ずべし、これ社會問題として攻究すべき事なりと思ふ當局者に於ても等閑に付することなく研究せられんことを望む

東京電報

▲**韓國鐵道の會計** 愈よ鐵道院に合併さるゝ事に決したる韓國鐵道の內容に就ては鐵道院の會計を二個の特別會計とし內國鐵道院の現制により韓國鐵道は新たに建設若くは改良工事費等に對し一般會計より年々相當の補助を與へ鐵道院に引繼ぎ韓國鐵道に融通せしむることに決したり(二十二日夜)

▲**學制改革案提出** 今期議會に提出せらるべき學制改革案は目下文部省に於て立案中にて十一月下旬若くは二月上旬迄に提出せらるべし(同上)

▲**大演習と自働車** 陸軍に於ける自働車の採否に關しては技術審査部に於て研究中なるが今回の大演習に於て實地試驗をなすべし(同上)

▲**東鐵の買收價格** 鐵道院に於ては東京電車市有に關し幾何に買收すれば東京市にて克く經營し得るやに付き調査を爲さしめたる結果其價格七千百万圓なりと計算せるが此範圍に於て市と會社側と協商纏まるに於ては鐵道院は直ちに貨物輸送及び電信電話の運送に實地試驗をなすべし(同上)

▲**歳費の増額問題** 議員歳費增加問題は結局政友會にては自由討議とし衆議院を通過すべく之と同時に貴族院に同問題提出せらるゝ場合は無記名投票制を成立せしめ世間體を裝ひ通過せしむべしと觀測さる(二十三日發)

▲**米價は益々暴落** 本年の收穫は前代未聞の大豐饒なる爲め各貯藏の正米は一時に市場に賣出され十圓七十五錢に暴落せり(同上)

▲**大演習の審判官** 來六日より開始せらるべき陸軍大演習の審判部署左の如し決定せり

中央審判長　陸軍大將　奥保鞏
中央審判官　同中將　福島安正
同　同上　秋山好古
同　同少將　大島健一

▲**山崎少將の逝去** 海軍少將山崎景則氏逝去せり(同上)

●**正誤** 昨紙電報欄中京城、湖南兩線敷設費並に京義線改修費の來年度割三百萬圓とあるは三百五十萬圓の誤譯

紐育電報

▲**ハリマンの後任** 故鐵道王ハリマン氏の後任としてロベット氏鐵道會社長となれり(廿三日東京經由)

歐州電報

▲**探險中佐の講演** ベアリー中佐は倫敦地學協會の招聘に應じ渡英の上北極探險に關する講演をなすべし(二十二日東京經由)

ニカラガ

▲**ニカラガの擾亂** ニカラガ諸港は革命の爲め閉鎖せられたり(同)

▲**沿海州の開展策** 露國政府は沿海州に於ける商工業の發達を計らんが爲め數年前より種々畫策しつゝあり先づ第一に交通機關の發達を計り第二に航海事業を盛ならしむる目的を以てカムチャッカ、オコック地方に於て種々實行的政策現出せられつゝあり(同上)

スペイン

▲**西班牙の新內閣** 內閣は總辭職をなし自由黨のモキレー氏新內閣を組織せり(同上)

▲**銀行の利子引上** 英蘭銀行は又々利子を引上げ五分とせり(同上)

北京電報

▲**端方入京と任所** 西大后大葬後軍機署に入るべき端方は二十一日西大后葬儀の爲め入京直に參內謁見せり(廿三日)

▲**中央滊船の定款** 郵傳部尚書は中央滊船會社を設置すべく管船局に其定款の起草を命せり(同上)

桑港電報

▲**日米銀行の閉店** 在桑港日本人勞働者の金融機關たる日米銀行は金內銀行破產の餘波を受け遂に閉店するに至れり(二十三日東京經由)

哈爾賓電報

▲**清廷の高官派遣** 哈爾賓に於て伊藤公と露國藏相コッオフ氏と會見あるに付北京外務部は特に高官二名を派遣し會見の模樣を窺はんとす(廿二日)

雜報

●**學部大臣の新任** 新任學部大臣李容植氏は昨二十三日午前十一時初めて登廳し高等官判任官一同を大臣室に招集して大要左の如き新任の挨拶を爲し終つて各局課を巡視したりと云ふ
余は六年目に再び當廳に出勤するに至れるが當時の狀態に比すれば舊態を一新して實績の大いに見るべきものあり余は經驗に乏しきものなれば高事次官以下諸君の協力に待たざる可らず希くは一心協力充分の御精勵を望む

●**警察官の大移動** 司法權實施に伴ひ來月一日を以て從前の裁判所以外に二十四箇所の裁判所を增設すべきが凡そ裁判事務の完備は警察機關の完成に俟つもの多きに依り之れと同時に警察署を增設し特に警部十名を增員して之れに配置し不足の分は從前の地方警察中の冗員を充用する筈なれば從つて各地警察署長其他に大移動あるは免れざるべし尚之れと相前後して二三警察部長の交迭あるべく而して其補塡は警部中より昇任さるべしと云ふ

●**管船事務と官制** 海上運輸に關する事務は農商工部大臣の所管に屬するも直接船舶の監視及航海上の事は寧ろ關稅局の司裁に屬せしむる方便宜なるを以て夙に官制改正の議ありしが今回の達式事件より一層其急要を感じ既に案を具して去る火曜日の統監邸大臣會議に付せられたり今其內容を聞くに日本の如く管船局を設置し船舶事務は擧げて其管理に任せしむれば統一上都合よきも此は經費の許さゞるを以て是を二分し產業的方面よりは農商工部の所管とし以て航路の經營及補助金に關する事務を司らしめ又船員船舶に關する行政は度支部大臣所屬の下に置かる可しと

●**關稅局巡邏船の觀覽** 鈴木關稅總長事務取扱は來る廿六日(火曜日)曾禰統監、石塚長官事務取扱、各參與官、大久保軍司令官、各大臣、新聞通信記者數十名を仁川港碇泊の光濟號に招待し過日大阪造船所にて新製の石油發動機船を觀覽せしむべしと發着時間左の如し
○廿六日午前十時稅關送迎船仁川波止場を解纜○十時三十分稅關監視艦光濟號着○午後二時五十分送迎滊艇光濟號を離れ同三時二十分波止場着○三時四十分仁川發(臨時列車)四時五十分南大門着、往路は朝八時十四分南大門驛發同九時四十三分仁川驛着

●**光州の兩傳習所成績** 光州には既に蠶業傳習所ありて其成績頗る良好なる由なるが今回更に機業傳習所を設立し彼是連絡を通じて婦女子の職業を奬勵する筈なり而して過日蠶業傳習所の卒業式を擧行し同時に機業傳習所の開所式を執行したるが地方郡守及び名望家等の熱心意外に深く大に囑望するに足る由なり尚ほ今回蠶業講習生を機業部へ入所せしめたるもの十一名あり更に二名の希望者ありしと云ふ

●**仁川小學校の運動會** 多數の兒童は云はずもがな市民一般指折數へて待ちに待ちたる仁川小學校の運動會は愈々本日午前九時より觀測所下廣地に於て擧行せらるゝ筈なるが氣候は暑からず寒からず殊に天氣も快晴なるべければ例年に增したる盛觀を呈するなるべく尚ほ聞く處に依れば餘興として一般有志者中より撰手を擧げ長距離競爭をも併せて演ずる由なりと

●**改正度量衡擴張計畫** 改正度量衡の普及區域は現在に於ては江原道全部を除くの外は他の各道の樞要街區に行き涉り殆んど其三分の一程度にあるが爾餘の普及に就ては更に明年度より三箇年を期して全部實行すべき計劃なりと云ふ

●**新舊學相の統監訪問** 一昨二十二日新任學相李容植並に同度相高永喜氏は統監邸に參候新任の挨拶を述べ統監は俵學部次官を學相に引合したり又昨二十三日前學相李載崐氏は統監を訪問して在官中の指導に對して謝意を表したりと云ふ

●**社寺建造物の保存法** 社寺建造物は極めて堅牢にして立派なるものあり且つ貨物等もありて之を保存する必要あり內部は目下之が保存法講究中なるが或は委員を置き取締るに至るべしと云ふ

●**龍山民團議員豫撰會** 來る十一月十一日を以て改選さるべき龍山民團議員候補者は德久、大村兩派に分れ互に相讓らざりしが兩三日前兩派會合の結果各八名を選出することゝ決したりと傳ふ

●**鐵道敷設運動員出發** 仁川商業會議所書記長荻谷籌夫氏は貴衆兩院及び各政黨の間に運動の爲め廿三日夜行にて出發したるが夫に就き既報の通り京、木、群各會議所及龍山同期成會は同氏に托し各自併設意見開申書を提出する事とせり

●**間島の閉鎖式と開館** 清國政府の間島開放期は十一月二日なるが我統監府派出所の閉鎖式は本月廿七日に執行し領事館の實際の事務は二日より執る筈

●**各地運動員の出發期** 議會に對する各居留地の兩鐵併設運動委員は十二月の議會開會間際に至り悉皆東京に出揃ふべき豫定に夫々手筈を定め居れりと

●**水利組合と監督方法** 水利組合今日の制度にては監督上不備の點あるを以て內部主管事務に移し該組合法律を作り各道に於て充分監督せしむべしと

●**吉永部長の危篤** 忠南警察部長吉永助一氏は豫て腸チブスに罹り居たるが昨今危篤に陷りたる旨其筋へ電報ありたりと

●**國稅徵收の成績** 度支部主稅局の調査に係る本年一月以降八月末日に至る內國稅徵收成績を見るに左の如し

| 監督局名 | 調定額 | 收入額 |
|---|---|---|
| 漢城 | 九四、一八五 | 四九二、〇四七 |
| 公州 | 一、四二一、七七九 | 八六六、一四一 |
| 全州 | 四、〇〇三、三七二 | 一、三三四、八九九 |
| 大邱 | 二、三三九、〇八八 | 一、六二一、六六六 |
| 平壤 | 一、八五七、六二五 | 五九四、九四一 |
| 元山 | 二六八、〇五一 | 一三八、六四三 |
| 合計 | 一〇、八二三、三三〇 | 五、〇五八、四六〇 |

●**學部令及び告示** 昨廿三日官立漢城高等女學校學則官立普通學校補習科規程官立漢城師範學校講習科規程を廢止し更に官立漢城師範學校速成科官立校洞補習學校規程官立漢城外國語學校學則を發布せり

●**豫備金支出裁可** 間島に於ける公立普通學校建築に關する經費として金八百四十二圓を豫備金より支出の件裁可せらる

●**警部任命** 廿二日附を以て警部泉田義夫、永田純孝、森寬右衛門、高橋文次郎、宮村駒三郎、二宮雄利炊は韓國警部に任せらる

●**南韓の棉花豐作** 南韓に於ける棉花は各種農作物中の重要品にして現に木浦港のみにても年々輸出する其額は三十萬圓の巨額に達しつゝあり然れば該品の前途は頗る好望を屬すべきが今本年に於ける作柄を聞くに近年稀有の豐作を極め既に木浦港へ搬出せられ近頃の同港は棉花を以て埠頭山を成し居れるの觀ありと

●**十月中旬の外國貿易**

| 區別 | 本年本旬分 | 前年同期 |
|---|---|---|
| 輸出品價 | 五三三、八〇六 | 三八、四三三 |
| 輸入品價 | 一、三七二、一三三 | 一、一六六、三六八 |
| 合計 | 一、九〇五、九一九 | 一、四四四、六九〇 |
| 輸入超過 | 八三八、三〇七 | 八〇七、八六六 |

本年貿易額の港別左の如し

| 港別 | 本旬分 輸出額 | 輸入額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 仁川 | 四三、四〇六 | 五五七、三九一 | 六〇〇、七一九 |
| 釜山 | 二二三、二〇八 | 三五六、四五五 | 五七八、五六三 |
| 元山 | 五三、六五三 | 八八、八六八 | 一三三、四九一 |
| 鎭南浦 | 五一、六六六 | 一二〇、八〇四 | 一七二、四七〇 |
| 京城 | …… | 一二六、四六七 | 一二六、四六七 |
| 群山 | 二六、六〇三 | 二四、九四五 | 六三、五七八 |
| 木浦 | 一八、〇五一 | 一七、一〇四 | 三五、一五五 |
| 馬山浦 | 一一、〇八〇 | 一〇、四一三 | 二一、四九三 |
| 清津 | 六、七七五 | 一〇、〇五〇 | 一六、八二五 |
| 城津 | 一〇、九五六 | 二〇、四〇四 | 三一、三六〇 |
| 新義州 | 六三、五八六 | 二五、三〇三 | 八七、八八九 |
| 計 | 五三三、八〇六 | 一、三七二、一三三 | 一、九〇五、九一九 |

●**漢江水運利用と仁川** 仁川商業會議所役員會を一昨二十二日午後三時より開會したるが出席者は加來、青木、市川、竹田津の四氏にして漢江水運利用に關する件は總會に提議するに決し亦た京仁間乘車回數券賃率低減の件は管理局に請願書を提出する事に決議し同五時散會したり

●**韓國銀行監事の決定** 韓國銀行總裁及び理事の顔觸れは既報の如く決定せるも監事の任命に就ては各株主等の內意を徵したる結果左の兩氏に確定し來る二十九日發表さるべしと云ふ
伊藤長治郎、濱口吉右衛門

●**キ將軍の旅行程** 去る廿一日北京へ着したる同將軍は來る廿九日午前八時二十分新義州發午後十時二十分京城へ到着ソンタクホテルに投宿し三十日は京城に滯在軍司令官邸に於て午餐夜は統監邸の晩餐會に臨み三十一日午前九時京城發午後六時三十分釜山着同八時三十分同地出發十一月一日午前七時下之關着同九時卅分同地發二日午後二時廿五分新橋着の筈

●**石井明石二將軍出迎** 別項キ將軍の入京に付石井武官明石參謀長の二將軍は二十六日午前南大門發北行列車にて安東縣に赴きキ元帥の來着を出迎ふ筈

●**兩派演說會開催** 一進大韓兩會聯合演說會は一昨午後一時より國民演說團に開催せしが聽衆二千餘名非常の盛會なりき

●**李首相の慰勞宴** 李總理大臣は防疫事務に從事したるものを今廿四日正午水雲亭に招待して慰勞の饗應を爲すといふ

●**大田有志の來京** 京釜線大田有志工藤勇次、內藤氏雄、渡邊寬治の諸氏三兩線基點に關する運動の爲め一昨日來京せり

●**眞野局長の來京** 文部省專門學務局長眞野博士は滿州よりの歸途廿三日入京

●**俱樂部改革協議** 仁川俱樂部改革に關し一昨日午後七時より民役所樓上にて相談を開きたる結果會長に信夫氏を副會長に岩崎氏を撰擧し評議員十名を擧げ更らに規則を制定して散會せしは十二時過なりしと

●**清國領事の着任** 新任の仁川駐在清國領事賀文燕氏は來る廿八日釜山より着任する筈にて仁川正領事代理より元山領事に榮轉したる馬永發氏は來廿五日赴任する筈なり

●**武田大佐の歸朝** 來京中の德山海軍煉炭所長海軍大佐武田秀雄氏は昨日朝歸朝す

●**能勢大邱理事官** 過般滯任中の大邱理事官能勢辰五郎氏は平壤へ向け一昨日退京

●**竹內書記官入京** 慶北道書記官竹內卷太郎氏は公務を帶び一昨日入京巴城館に投宿

●**飯岡技師の退京** 鑛山技師飯岡政重氏は巴城館投宿中の處一昨日平壤へ向け出發

●**米國代辨總領事** 在京米國代辨總領事ゴールド氏は二十六日全北光州へ出張せり

●**和田四郎氏入京** 馬山副理事官の同氏は公用を以て一昨日入京浦尾旅館に投宿す

●**仁川監獄の新築** 仁川監獄內獨分監は目下新築中なるが本年內には竣工する筈也

### 近事片々

▲伊公 清國顧問說果して事實ならば至極結構廢物利用頗る妙と萬朝報云ふ些ぞ苛酷

▲廢物 利用は苛酷なるも日清現在の關係上伊公が顧問たらば日清は一層に融和せむ

▲是れ 兩國の爲に最も好き事なれ共清廷に到底此雅量覺束なし從て一片の風說のみ

▲若し 夫れ帝國大に外交家あれば是を實現せしむる位は朝飯前の仕事思へば歎亦歎

▲露相 コ氏と哈爾賓に於ける會合も唯初の顔合に止るも幾分日露の融和に効あらむ

▲餘り 外人の人氣を博さんとして却て公は心を讓る公は外交家として聊資格を缺く

▲曾禰 統監快氣祝に御得意のヌタをものし而も印刷して客膳に配すと情も目出たし

▲其歌 は渡らねば極樂淨土に參られぬ水嵩まさる賽の河あどにもどりて御免なさい

▲でめ んなせ亦御世話とかく浮世はまゝならぬ佛のかほも三度とか依例振つたもの

▲實際 何の事かさつ張り判らぬ其判らぬ所に曾禰式が發揮され居ると云へば夫れ迄

▲好き こそものゝ上手なれと云ふが多くは下手の横好きにて之に當てられては災難

▲統監 夫人も愈々歸京せられたが歸朝すべく噂された統監は元氣復して見合は結構

▲間島 も來月二日より開放せらる唯望むらくは在留の日韓人をして意氣を落さすな

▲淸津 港築港吉會線布設は間島を活かすの大動脈領土權の一歩を有利にするは是れ

▲東拓 會社は愈々地主的根性となり唯小作米の算盤パチ〳〵大使命杯何處に風吹く

▲是が 目下東拓に對する下馬評也併し實際亦此觀有憐れなる萬骨も亦不平だら〳〵

▲近頃 韓人間に宗教的結社續々と起る曰く孔子教大同教天道教侍天教神宮奉敬會等

▲之を 以て宗教心の勃興と見るは誤也之を以て何事か爲せんとする野心團多きは歎

▲畢竟 是れ無祿無爲の徒多き爲に斯るものが無暗に起る是決して等閑の問題に非ず

▲社會 問題として攻究するの價あり爲政者たるもの須く此現象に向て注意すべき[illegible]

▲**滊車衝突** 今朝東海道木曾川に[illegible]衝突し即死二重傷者多數[illegible]

十月廿四日 舊九月十一日 [illegible]

吉凶 本町五丁目 三一館判斷

伐木に吉△四綠 盗難[illegible]防ぐべし概して若ては損失あり其外平凡△九紫 沈衰の日[illegible]△五黄 貸借保證[illegible]△六白 家庭內又は交際[illegible]△一白[illegible]△碧 保健衛生に留意し尚負傷防ぐべし新事あり△八白 家畜從者兒孫の事注意[illegible]

●**兩大臣の德壽宮伺候** [illegible]て親しく新任の御挨拶を申述べ終りしと云ふ

●一昨夜の新町 遊廓の色餓鬼は總計八十人にて此散財額たつた四百九十二圓廿五[illegible]

▲臨屋中將所罰 [illegible]水產會社事件本部[illegible]臨屋中將は輕禁錮七年に處せらる（廿三日東京電報）

十月廿四日 [illegible]

●病院訪問記（四）

## 贊化病院

二十一日午後零時三十分本町通り四丁目の贊化病院を訪ふた。先づ玄關來診者控室の大韓國欽差大臣許蔿の書「名醫國手」の篇額が目立つ。恰かもよし院長は患者の途切で一寸手が隙いてゐる。來意を通ずれば快諾を得て應接室に通さる、温厚なる古城院長は椅子に依りてシガーを燻しながら諄々と語つて呉れた。私は明治十七年東京醫科大學別科を卒業して直ちに東都で私立病院中で有名なる本郷の順天堂病院に奉職致しました越ゐて明治十九年の春京城韓國公使館附醫官として渡韓し四箇年間在京官吏及び居留民の診察治療に從事しました當時京城に於ける日本の居留民は官民を合して僅かに二百人位しかなかつたのです後三四年の內に渡韓者激增して七八百位になりしに依り居留民公醫となり兎に角日本人にして韓國に於ける醫師としては自分が第一の渡韓者であります其後今の大韓醫院の前身なる官立醫學校に一ヶ年間教鞭を取りました贊化病院の設立は韓國で邦人病院の嚆矢であります目下自分の病院では醫師は自分共に四人居りまして各科を設け各自分擔して診察して居ます自分は外科及び婦人科を擔當してゐます各科を通じて來診患者は花柳病が一番多く而かもそれが重患者で大抵二期三期の患者が尠くない內科は北村軍醫正が隔日診察してゐます入院患者は目下の處四五名ありますが韓人患者に對しては病室の設備は總て韓人向きに温突なども設けてあるけれども矢張費用の點から入院する者は概してないが地方からの患者にはある大韓病院が出來てから無料で施療するので京城在住の韓人は多く同病院に行きますが地方の者は自分の病院が比較的歷史が古いから態々尋ねて來る患者が多い樣です私は去る三十六年淸國北京の日本居留民の公醫に招聘せられて行つてゐましたが都合に依り昨年九月京城に歸りました目下京城に於ける邦人醫師は大凡百二十名位は開業してゐます尤も此內龍山の方も含んでゐます韓人向の醫師は十名位ありまして皆日本の醫學專門學校出身者ですが同じ學校卒業者でしても日本人とは學力の點に於て甚しき懸隔があります韓國の留學生は規定の年限間勉學し殆んど奬勵的に卒業さするのでして其患者診察に就ても疑しき點が有ます（藤子）

●天長佳節祝賀 ▲藝妓總出の餘興準備

來る十一月三日天長節佳辰の祝賀會に就ては既報の如く法權實施の紀念祝賀を兼ね擧行す可く目下協議中なるが昨今の不景氣振興策として此機を利用し最も盛大に執行するは機宜を得たる者とて各料理店に命じて藝妓連總出の花車を引廻はさしめんとの議起り交渉したるに其經費約八百圓を要すべく而して之が半額丈けの補助を仰がんと申出でたるを以て準備委員は東拓會社日韓瓦斯電氣會社及第一銀行百三十銀行十八銀行へ對し相當寄附を求めんと目下交渉中なりと

●東洋生命保險に就て ▲前重役連責任を負ふ

本紙一昨日の報導に係る東洋生命保險會社の某重役が社金を私消したりとの件は本社が精探の結果知り得たるところによれば實は某重役が自家の株金及び他の株金を約束手形を以て拂込み置きたるを他の重役が發見したる爲め一時問題を惹起したる次第なるが其後二三重役の盡力により該問題も圓滿に解決したるを以て新たに尾高次郎氏を社長に推し內部の整理を遂ぐると同時に外部に向つて發展を爲すべく準備整ひたるを以て同會社の前途は從來に比し大に有望なるべしと傳へらる

●人夫紛擾の其後 ▲仁川府尹調停を試む

仁川勞働組合の紛擾は再三再四報道せし如くなるが仁川署に於ては絕へず警官を海岸なる斗量場に配置して萬一を警戒せる爲め其後何等の爭鬪を見ず殊に仁川府尹金潤晶氏は專ら應信組及び日韓勞働組の間に立ちて妥協の任に當り居れば今明日中には圓滿なる解決を告ぐるなるべし

●李根澤召喚さる ▲長時間の取調を受く

元軍部大臣李根澤は一昨廿二日京城地方裁判所檢事局に召喚せられ長時間の取調を受けたるが右は重大なる事件に關しての嫌疑なりと云ふ

●仲仕と船夫の大立廻 ▲先に負けたが口惜しい

昨日午前一時頃仁川宮町二丁目の料理店初音亭に於て多數の者が大立廻の最中なりとの急報に接し宮町派出所詰米里巡查現場に出張して双方を制止し長崎生れ當時松阪町一丁目居住の船乘業久米淺市（三九）鹿兒島生れ仲町居住の西彌助（三八）同木村組仲仕仲井梅太郎（三六）仲町吉田組中仕阪本虎組（三八）同永野友一（三三）同牧野宇吉（三八）坂井組船乘業沖新松（三二）及び仲裁人花町一丁目居住の槌谷虎吉並びに初音亭代理人大井さとの八名を派出所に同行して取調べたるに之より先き十二時過ぎ同町一二三亭前にて前記西彌助と久米淺市とは些々たる事より喧嘩を初めたるが其際は仲裁人ありて圓く收まり淺市等は初音亭に登りて愉快に遊興しつゝある處へ西は先刻喧嘩の際幾分負を取りたる殘念さに再び格鬪して鬱憤を晴らさばやと多勢の者が酒宴中の部屋に闖入し矢庭に邊りに有合せたる德利小皿の類をば雨霰の如く久米に投げ附けたるより此方も負けてはと居す總立ちにて大立廻りの最中警官の爲め引分けられしものにして仲裁者なる槌谷に向ひ西は二回迄德利を投げ附けて負傷せしめたるのみならず久米も多少の傷を負ひしかど告訴の意志なければ双方に對し嚴しく說諭の上引取らせたる由なるが一時は非常なる騷ぎなりしと

●酒は好だが勘定は嫌 ▲借は拂はで又借りる

龍山大島町の料理店萩の江にては豫て同地京町五號九番戶居住三山松太郎（三九）に酒食代金三圓計りを貸付けあるより二十二日朝仲居をして請求せしめたる所松太郎は今夜行くと答へしより仲居は其の儘歸宅せし所約束通り夜に入り登樓し更に二圓餘の酒食をなしたるが同家にては前貸金と共に請求したる所同夜も又懷中初めから文なしとの事に同家にても承知出來ずと立腹し無錢飲食者として龍山署に屆け出でたるより樓主同道出署すべき旨命じたるが其の後に至り廿四日を期し精算すべきことに示談整ひたる旨申出でたりとかこんな思ひをして迄も酒が飲みたいとは能く〱因果な生れ付きと見ゑたり

●近頃感心な擔軍

京城長谷川町一丁目一番戶富田商店方居留齋藤治市は一昨廿二日午前八時四十分南大門驛に於て擔軍を傭ひ赤玉絨毛布一枚（價格十三圓）鶯茶色オーバーコート一着（價格十八圓）外雜品數點在中の縞信玄袋一個を負はせ歸宅せんとする際混雜に紛れ擔軍の行衛不明となりたれば大に驚き直ちに其旨本町派出所に屆出でたるが一方件の擔軍は雇主を見失ひ是れ亦非常に搜索せしかど一向に知れず遂に本町通りにてそれらしき男を見て追跡せしに第一銀行に入りたるを認めたるに依り門前に佇立して午後四時過ぎまで待ちたれども出で來らず尋ねあぐみて本町派出所に屆出でたれば南部署に通牒して直ちに前記齋藤を本署に召喚し擔軍も同道して荷物を檢せしに異狀なく齋藤は擔軍の正直なるに感心し倍額の賃錢五十錢を同人に與へたるが同調の結果同人は西部南大門外桃洞統戶不詳申甲得（十四）と判然したるが詰合の警官も甚く感激して同人の將來を勵したりと云ふ

●韓人の強姦未遂

仁川居住の漁夫李潤秀（二九）及び同張雲鳳（二七）の兩名は一昨日の午后六日頃同地畓洞十四統居住の農成玉方に侵入し折しも主人の不在なるを見て取り成玉の妻黄氏（三〇）が爐邊にありて裁縫に餘念なきをば抱き倒し李は表門に立番し張は今しも怪しかる振舞に及ばんとするより黄氏は聲を限りに呼び立て近所に救を求めしにぞ何事ならんと隣家の李石元（三六）がひた走りに來て見れば此の仕末なるより吃驚仰天其儘跡を追込み前記二名を取押へ宮町派出所に訴出でしかば一應取調べの上犯人二名は內洞派出所に引致し取調中なり

●自轉車大競爭會

今廿四日午前十時より龍山停車場前空地に於て開催する同會は會員申込者多數の由なれば定めて盛會なるべし因みに賞品は一等自轉車一臺二等十二番村田銃一挺三等銀側時計一個にして會員は會費一圓なりと

●京城の初氷

本月中旬多少氣温上昇の傾きありしが二十二日滿洲地方の氣壓上昇して氣温の下降を催進し今朝又別に韓國中部に小高氣壓を生じ當地に於ては氣温三十五度二に急落し初氷を結べり之れを昨年に比するに七日平年よりも八日早し

●ソンタクホテル

貞洞なるソンタクホテルはソンタク孃引拂後太平町なるパラスホテル主人佛人ボーア氏が引受けて盛んに設備を凝らし八個の客室に一々湯殿を附し寢臺、椅子等も悉く新調し食堂には多數の樂器を備へ料理は主人直接監督の下に佛蘭西式に調進し酒類は悉く佛國より直輸入し而して宿泊料は三食と三回の茶菓を供して一宿七八圓に過ぎず、大小宴會は勿論日本人の宿泊に便する爲め日本人男女四名を雇ひ且主人初め頗る愛嬌能く接待する由

今日 十月廿四日自午前九時至午後五時
**秋季自轉車大競爭會**
於龍山停車場前空地

演藝

藝術の崇ぶべきは最早何人も異存なき時代とはなりたるが只所謂藝術家即ち俳優等の品性の餘りに下劣にして爲めに神聖なる藝術の價値を疑はしむるに至るは慨はしき次第なるが昨日の大朝、天聲人語に左の如き記事ありしかば茲に轉載して世の愛劇家諸君に示す△坪內逍遙博士が劇の改良に熱心な事は誰知らぬものもないが、今度養子をハーバート大學へ留學させて劇の研究をさせるさうだ△此養子は踊は藤間勘右衛門の免許を取り、長唄でも義太夫でも立派に師匠として立てる程の修業を積み、それに昨年早稻田の英文科を首席に卒業した上に、れ父さん仕込のセーキスピーヤ研究は勿論、古今東西の劇時は十分の素養があるへそれから實際の芝居に掛けても家に舞臺があつて、子供の時から黑人の指南を受けてゐる、それで博士は行く〱は無論俳優として立たせうといふのださうだ△俳優になるにも斯の位の素養と眞面目な志望とを要するといふことを斯界に權威ある博士が實物教訓を與へたものだ、墮落書生や転婆娘の俳優志願などは話にならない、

▲平民文庫▲

▲一昨朝南大門驛は曾禰統監閣下夫人の退京を見送らんが爲め各高等官の奥さん連の盛な集せられたるより時ならぬ盛觀を呈した△中にも一際目立つ盛裝の奥さんがあつたが奥さん何を感ずつてか自用車を先きへ戻しになつて車馬絡繹、砂塵濛々たる南大門通りをトボ〱と徒歩なさる△野暮な風聞子には能くは判らぬかれ着服は薄紫の御紋服に帶は厚板とでも云ふのか茶色の夫れで紹の肩掛け丈けより外風聞子には形容出來ぬが兎に角頗る振つて居たへ其振つた奥樣が如何なればこそ徒歩なさるか不思議とも不思議、車代に不自由のある身ではなし郎君は世にも時めく顯官、鐵砲持てば飛ぶ鳥も落さるゝ勢おはせらるを然りとは物好きにも程のあるもの、豈夫新調のれ召物を見せたさの夫れでもあるまいに△判らないのは朝鮮人の量見計りぢやごんせぬ哩（風聞子）▲一般商店の主人に申入候店員には詳細なる日記を書しなさい有形無形に種々な利益があります店員に日記を書さぬは人を使ふ資格が缺けて居ると云つても宜しい但し私丈けの言かも知れませぬ（はの字）▲龍山ケイアイ生君に申す廿四日の日曜は少々差し閊へがあるが此の次のか若くは來月三日では如何なりや何うか都合をれ附け下さい甚だ勝手だが申入れます（其の係）▲長谷川町の幾代と云ふ飲食店は家は屋臺店に毛の生へた樣で甚だ振はぬが食い物が美味くて値段が頗る安い仕出しもするが兎に角湯戾りなぞには以て來いだ（吹聽生）▲罪を惜んで人を憎まず行を人に及ばさゞるなり斯くて一方は君子にして一方は忘恩者也（春部）▲寄座の福井一座は何日から開場するのですか一日千秋の思ひをして居ます（劇狂子）▲本月末と聞いて居ります（係）▲竹冷宗匠の御撰を願ふ俳句の投稿期限は何日迄ですか（初心者）▲た答へします取急いで書き落しました今月末日迄と致しました（其係）▲愛讀者に申す、龍山に支局があります岩井町の稻荷堂の前です（係）▲犬養毅子は大袈的に投書したものだ警察官に其樣な事があつて堪るものか（への字）▲僕は久し振りで大韓日報の八木子の歌留多の取りつ振りを見たが實に驚くべき上達だ僅かに今春から初めた人とは思へぬ天才だナ會の隆盛故ありだ（羨望子）

**貸地**

龍山新市街有望の宅地埋立濟一坪五錢以內御望の方は龍山本町二丁目中野支店方へ御來談を乞ふ

廣告

公告 當民團小學校基金へ寄附

一金五十圓也
右ハ宮崎縣士族松田行願殿亡長女立枝子ノ生前ニ於テ貯蓄シタル金員ノ處今般同女ノ遺志ニ基キ當民團小學校教育基金へ寄附相成候條此段公告ス
明治四十二年十月廿二日
京城居留民團民長 熊谷賴太郎

●南大臣の德壽宮伺候 新任李學相[illegible]一昨二十二日[illegible]德壽宮に伺候し太皇帝に謁見[illegible]

# 衣物聯合大賣出し

## 確實なる正札付割引なし

本月二十日より
仝廿六日まで
現金に限り御方添物進呈

秋冷之候各位益々御清祥之段奉慶賀候却説從來季節之賣出しに付ては正札より割引仕居候處此回よりは業務の精確を主とし確實なる正札に改め一層廉價販賣仕候に付倍舊の御愛顧を賜り度伏而奉願上候

但し見切反物并によせきれは御添物なし

## 京城呉服商組合

いろは順

(日) 京城本町四丁目 林呉服店 電話六五二番

(枝) 仝本町五丁目 山枝呉服店 電話二二四番

(四) 仝本町[illegible]丁目 山口呉服店 電話九番

(一) 仝本町三丁目 丸一洋反物店 電話六三五番

(上) 仝本町三丁目 圓城呉服店 電話一五七番

仝本町二丁目 恵政呉服店 電話七二六番

(加) 仝本町四丁目 東那呉服店 電話六八二番